

準備するもの 教科書46ページ～51ページ

(1) 教科書四十六ページ～四十七ページの三段落目まで読んで次の問題に答えよう。

○三段落で筆者は、「事実と結びついていれば、どんな言葉を使っても同じように受け取られるでしょう。か。じ。つ。も。そ。う。で。は。な。さ。な。う。で。す。」といっています。「これはどんな」をいっているかくわしく書きまじ。つ。。

考えるときのポイント

○「一、二段落目の」「うそつき少年の話」の例をよく読み、言葉と事実の関係について考えてかきまじ。つ。

(2) 「言葉と事実」では、言葉と事実について三つの事例を通して説明しています。次の表に言葉を入れて整理しましょう。(例をもとに考えよう。)

事例	出来事	筆者の伝えたいこと
(例) 1 うそつき少年の話	「おおかみが来た」と事実と結びつかない言葉を何度も使っていたので、言葉と事実が結びついたときに信用できないと思われた。	言葉は事実と結びつけて使うことが大切である。
2		
3		

(3) 今日の学習をふりかえってみまじ。つ。(ふしぎだな、きもんに思った、自分は「う」思うなどを書いてみまじ。つ。)